

(参考資料)

布袋駅東複合公共施設整備の前提条件

パブリックコメントの対象は、布袋駅東複合公共施設について(案)【導入機能・規模および事業スケジュール】のみとなります。

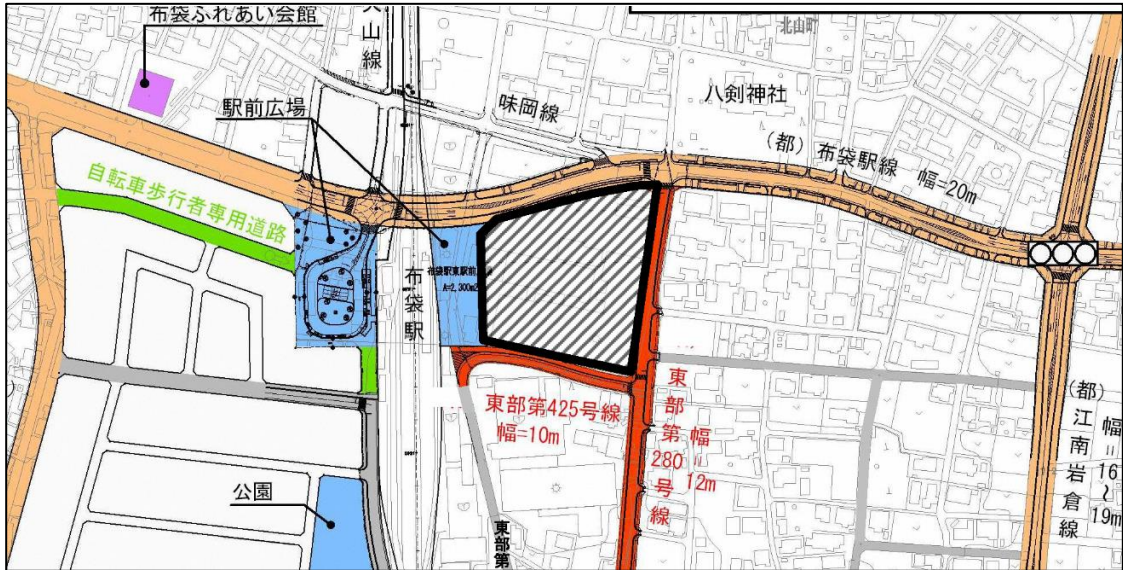
平成 30 年 1 月

江 南 市

1

事業対象地の概要と前提条件の整理

<事業対象地の概要>



図

所在地	江南市北山町西
面積	約 9,000 m ²
区域区分	市街化調整区域 ⇒今後、市街化区域に編入予定（近隣商業地域）
建ぺい率、容積率	建ぺい率：60%、容積率 200% ⇒今後、建ぺい率：80%、容積率 200%に変更予定

<事業対象地の前提条件の整理>

<p>■江南市の上位計画における方針■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「暮らし続けられるまち」「住みたいまち」がコンセプト ・子育て、雇用・就労、安心して暮らせる環境づくりを重要視 ・布袋駅周辺を江南市の南玄関口として、その拠点づくりが目標 ・公共建築物の総延床面積縮減のため、類似機能の統合や異なる機能の複合化を検討 	<p>■市民意向■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活機能の集約を図り、コンパクトなまちづくりをすべき」という意見が最も多い ・20～30代の若い世代では、「子育て支援に関する活動」への参加意欲が最も多い ・市民にとって、「子育て支援」や「保育サービス」の今後の重要性が高い
<p>■布袋駅周辺の特性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布袋地区の人口は、近年はほぼ横ばいであったが、将来的に減少に転じ、高齢化の進展が予想される ・江南駅付近に比べ、布袋駅周辺には、生活利便機能、保健・福祉機能、子育て（教育・学習）機能の立地が少ない ・布袋駅西側は区画整理によって居住環境が整備されているが、東側は、基盤整備を進めている段階 	<p>■複合公共施設の先行事例■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾張一宮駅前「i-ビル」（一宮市）：図書館、子育て支援センター、ホール、学習室などの施設が民間施設と整備されており、尾張西部中核都市の新たな玄関口として、賑わい創出に貢献 ・「キララ上柴」（埼玉県深谷市）：生涯学習センター・公民館、地域職業相談室等がショッピングセンターと併設され、福祉・文教機能の向上や地域商業の活力維持が図られている

布袋駅東複合公共施設整備のコンセプトと整備目標

【基本コンセプト】

江南市の南玄関口にふさわしい、安心して住み続けられるまちの交流施設

【整備の目標】

1. 周辺地域の市民の生活を支え、安心して住み続けるために必要な施設を整備する。
2. 駅前の好立地を活かし、市民の利便性が高く、利用者数（来客数）が望める施設とする。
3. 必要な公共サービスを集約し、効率的・効果的な複合サービスを提供する施設とする。
4. 江南市の南玄関口としての魅力向上のため、複数の導入機能の相乗効果が期待できる施設とする。
5. 民間施設を併設し、賑わい・交流をもたらす拠点性の強い施設とする。

<整備の前提条件>

- 移転する機能：現状に応じて規模を見直し、重複する機能の集約による床面積の縮減を図りつつ、十分な公共サービス提供が可能な規模を確保する。
- 新規で整備する機能：事業対象地に需要があり、かつ他機能（移転する機能）との相乗効果が発揮される機能について、規模を十分に精査した上で整備する。
- 事業手法としては、市民サービスの向上およびコスト縮減効果の最大化を図るため、民間ノウハウを適用する手法（民活手法）を導入する。

